

ジオ×ホテル Entô Annex NEST



【建物概要】

■ 所在地	島根県隠岐郡海士町	■ 構造規模	木造+RC造 地下1階・地上2階 60分準耐火構造
■ プロジェクト マネージャー	レンドリース・ジャパン (株)	■ 建築面積	781.32 m ²
■ 設計・監理	(株)マウントフジ・アー キテック・スタジオ	■ 延べ面積	1,639.67 m ²
■ 構造設計	KMC	■ CLT 使用 部位 最大サイズ	壁 1.93m × 3.76m × 210mm
■ 構造計算ルート	ルート2		床 1.2m × 6.2m × 150mm
■ 設備設計	(株)テーテンス事務所		屋根 1.2m × 6.2m × 120mm
■ 施工	前田建設工業・鴻池組 特別共同企業体	■ 木材使用量	格子壁 0.42m × 6.2m × 210mm
		■ 工期	650 m ³
			2020年3月～2021年5月

木造+RC造の地下1階地上2階建て、3層18客室のホテル別館(上写真左側)で、海に面した長さ73m×幅6.1mの長方形プラン。地上部と地下の一部にCLT+集成材梁を用いています。燃え代設計の60分準耐火構造で、外壁には断熱材を入れて杉の外装材を張っています。屋内壁もCLTの現しではなく杉の化粧材が張られている部分もあります。CLTを現しで格子状に組んだ耐力壁もあります。上下階間の床は、集成材梁の上にCLTを載せ、さらに合板やモルタル・遮音マット等を組合せた遮音性能に配慮した構造になっています。客室の海側は床から天井までの大開口(FIX窓)で、建物の短辺方向に外気が吹抜ける専用テラス付き客室もあります。

インタビューでは、ホテル運営会社の代表やビジネスユニット統括部長、オーナーの海士町のプロジェクト担当課長から、町のコンセプト「ないものはない」を含めて、木造で建てた経緯、メンテして使い続ける意気込み、島への貢献の望み等を伺いました。設計者からは、CLTを活用した構造的な特徴、離島での材料や人材確保、ホテルとしての遮音性能確保等に関するお話をいただきました。